


# ぐんぐん組 保護者会

【担任】日野友加里・島根優里恵・岡田梨緒

# 本日の内容

---

- ぐんぐん組 おともだち紹介
- クラスより(最近の様子と今年1年間の育ちの見通し・年間目標)
- 園長先生より
- ぐんぐん組のコーヒータイム 

みんなでコミュニケーションをとる時間にしたいです♪

(緊急園児データカードの確認も行います)

# 2026年度 ぐんぐん組

新しいおともだちが加わって8名でのスタートです♪

かめがやしゅうへい



さかがみ てつ



おかもと よな



にしうち ゆうき



たなか あみ



てらまち とうま



いざわ かたり



ひらおしょうた



## 【名前の由来】

～クラス別発達の特徴を現わしている～

---

ちっちゃなちっちゃな

おおきくのびる

いつもわらって

とってもげんきな

みんなでなかよく

なんでもしよう

ちっちぐみ

ぐんぐんぐみ

にこにこぐみ

わいわいぐみ

らんらんぐみ

すいすいぐみ

# ～最近の子どもたちの様子～

【健やかに伸び伸びと育つ】

てつなぎさんぽ♪



えいえい  
お～！



“じぶんで”



# ～最近の子どもたちの様子～

【身近な人と気持ちを通じ合う】



おともだちだいすき♡



“やってあげたい”



# ～最近の子どもたちの様子～

【身近なものに関わり感性が育つ】

“手先が器用になってきました”



素材・自然物  
との触れ合い



# 年間目標

---

- 自分の思いや気持ちをたっぷりと表現しながら、それを十分に受け止めてもらう中で、自分の気持ちに気づいていく。
- 保育者や友達との関わりの中で、自分の気持ちを身体や言葉で表現したり、相手の気持ちに目を向けたりしながら、人と気持ちが通じ合う喜びを感じていく。
- 一人ひとりに合った環境・安心できる保育者との関係の中で、身の周りのことややってみたいことに意欲的に向き合い、自分の世界を広げていく。

1. 自分の思いや気持ちをたっぷりと表現しながら、それを十分に受け止めてもらう中で、自分の気持ちに気づいていく。

## 『自分の気持ちをたっぷり表現する』

---

- 自分の気持ちを思う存分表現するなかで…

⇒まだ言葉にならない感情を、「怒っているんだね」「今はこれがしたかったんだね」と大人に受け止めてもらったり、言葉に乗せてなぞってもらったりする

⇒「じぶん」と「他者」という存在をしっかりと確立し始め、その違いややりとりを体験していく大切な時期

1. 自分の思いや気持ちをたっぷりと表現しながら、それを十分に受け止めてもらう中で、自分の気持ちに気づいていく。

『十分に受け止めてもらう。自分の気持ちに気付く。』

---

⇒「たのしいね」「うれしいね」「いやだったね」「それがしたかったんだね」

…と、ありのままの気持ちをしっかりと受け止めてもらう。

⇒「分かってもらえるんだ」という安心感や、「自分は大切にされているんだ」

という感覚の中で気持ちが満たされていく。

「自分はこういう気持ちなんだな」と気付いていく。

2. 保育者や友達との関わりの中で、自分の気持ちを身体や言葉で表現したり、相手の気持ちに目を向けたりしながら、人と気持ちが通じ合う喜びを感じていく。

### 『自分の心が満たされる、相手はどうかな？と目を向けていく』

---

- お友だちに親切にしてもらったり、気持ちを通わせ合った嬉しい経験が積み重なって、次の関わりや関係を生んでいく。
- 受け止めてもらい、自分の気持ちがしっかりと満たされるからこそ、相手の気持ちに目を向けていくことができる。

⇒「自分」と「他者」との違いに気付き、じゃあ、どうしたら良いかな？と

(大人に支えてもらいながら)体験していく時期。

2. 保育者や友達との関わりの中で、自分の気持ちを身体や言葉で表現したり、相手の気持ちに目を向けたりしながら、人と気持ちが通じ合う喜びを感じていく。

## 『言葉の爆発的増加の時期』

---

⇒ 言葉によるコミュニケーションが著しく発達していく時期

外に出てくる言葉はまだ少ないように見えますが、とても大きな他者認識の変化が起きてくる。

…(この辺りは後ほど園長の話の中でも話があります。)

3. 一人ひとりに合った環境・安心できる保育者との関係の中で、身の回りのことややってみたいことに意欲的に向き合い、自分の世界を広げていく。

『一人ひとり違うこと。“みんなちがってみんないい”』

---

- まさに「じぶん」の世界を広げている真っ最中のぐんぐんさん。  
興味を持つことや やってみたいことは一人ひとり違います。  
発達によっても違いがあります。

⇒同じクラスだからといって、皆がいつも同じ環境の中で同じ遊びを楽しむ、ということはありません。

一人ひとりの子どもたちが生き生きと過ごすためには、それぞれの発達や関心に合った環境が必要だと考えています。

3. 一人ひとりに合った環境・安心できる保育者との関係の中で、身の回りのことややってみたいことに意欲的に向き合い、自分の世界を広げていく。

『発達や興味関心に合わせた環境を作っていくこと』

---

- ⇒一人ひとりの子どもが何をやりたがっているか、どんな世界を広げようとしているのか、よく読み取りながら、そこに寄り添った環境を作っていきたいと思っています。
- 子ども理解を深めながら、環境を用意していく。  
そのために、大人も、試行錯誤です。

# お知らせとお願い①

---

## ●登園時間について

現在園では9:30までの登園をお願いしておりますが、日中の活動時間を増やし、充実させていくために9:00頃までの登園にご協力ください。

## ●持ち物の記名について

保育園の持ち物には、すべて記名をお願いいたします。園では、担任だけでなく複数の職員がかかわっていきます。

はっきりとわかりやすくご記名ください。

## お知らせとお願い②

---

### ●エプロンについて

【持参していただいている方へ】今までは1枚でしたが、食事用とおやつ用で1枚ずつ使用したいため、2枚ご準備をお願いします。

### ●汚れても良いものを

保育園では、子ども自身の体験を大切にしたいと考えています。思い切り遊ぶ中で、帽子や服、靴下などが汚れてしまうこともありますので、園には汚れても良い持ち物をご用意ください。

★靴についてご相談したいです。

## お知らせとお願い③

---

子どもが意欲的に様々なことを やろうとする気持ちを大切にするために・・・

●衣類、靴、靴下など お子さんが自分で着脱しやすいものをご用意ください。

肌着はロンパースタイプのものでなくてセパレートタイプの肌着のご用意をお願いします。

●汚れ物袋は口が大きいものをご準備ください。

まだ言葉でのやりとりが難しい分、身体で表現することも・・・

●爪の確認はこまめをお願いします。